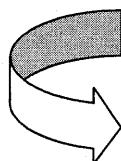


『パターンランゲージに何が可能か?』

中埜博 (株式会社 まちづくりカンパニー シープネットワーク 取締役)

1. 自分の身の回りの物・環境を、自らの欲するものと合致させたい潜在意識がある



こんな環境に住みたい・・・

こんなデザインの物が欲しい・・・

こんな事がしたい・・・ etc

達成させるのは困難を伴う ★なぜ、できないか?

複雑、大規模、

専門、分業...etc

“素人”の参加は難しい ➡ 意見を言える環境の悪化

★どうしたら自分の希望を達成できるか??

専門家に依頼する

コーディネーターの仲介

自分一人で目的達成を試みる etc

希望に近づくため



「共通の言語」

希望・表現の曖昧さをはっきりさせ、数値や記号で表すように、誰にでも
共通して理解可能な言葉により、関係者の共通の意識・環境をつくりだす。

2. 共通言語を必要とする身近な例をみてみよう！

みんなの希望を
かなえるには？

<例>

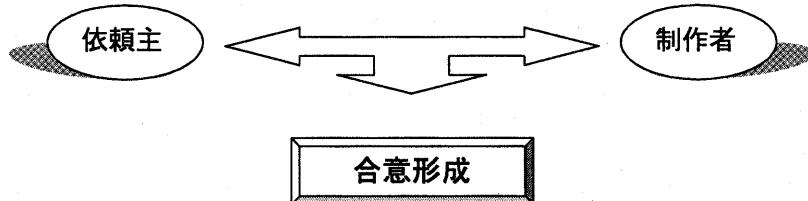
- ・建物づくり
- ・まちづくり

最終目的物を得るために沢山の関係者が存在する

私はヨーロッパの町並みのような環境で、車より歩いて買い物に行けるような所に住みたい。僕は最先端の未来都市のような街にして欲しい。私が安心して遊べる場所が欲しい。退職後っているので大型店舗の進出にはしをしたい。通学に便利な環境にど。ディズニーランドが近ければころがいいね。農業を統けたいんいわ。日当たりのいい家に住みたス風の壁紙がいいわ。木の家じスが必要よ。近くに外人さんがいたらいのに。外入だからうて何よ！部屋貰してよ。……

関係者各々が納得し
条件に見合う形を
つくり出す！

して欲しい。子供が安心
実させて欲しい。商店をや
ケアが充実した安心な暮ら
しにあると便利なんだ
け。かわいい子が沢山いると
餘のしやすいキッチンが
自分の部屋が欲しい！フラン
ですね。友達が来られるスペー



- ・各関係者の要求（欲望）の違い
- ・金銭、立地等の絶対条件
- ・時間の経過に伴う時代変化 ··· etc

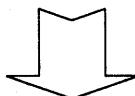
※各々をつなぐ役目が必要

言葉を共通の言語とする「通訳機能」および「通訳する人」が必要かつ重要

3. 合意形成の方法を見つける

“実現プロセスの中で、「通訳」の役割を見つける”

- 条件1 関係者が実際にプロジェクトに参加する
- 条件2 完成までの時間の変化に即対応出来る手法でなければならない
- 条件3 大小様々なプロジェクトの積み重ねに対応できる必要がある



言葉を一つのパターンとして認識し、
誰にでも理解可能な表現におきかえてゆく

パタン・ランゲージ

★パタンランゲージによって、通訳の働きが可能なのは何故だろうか？

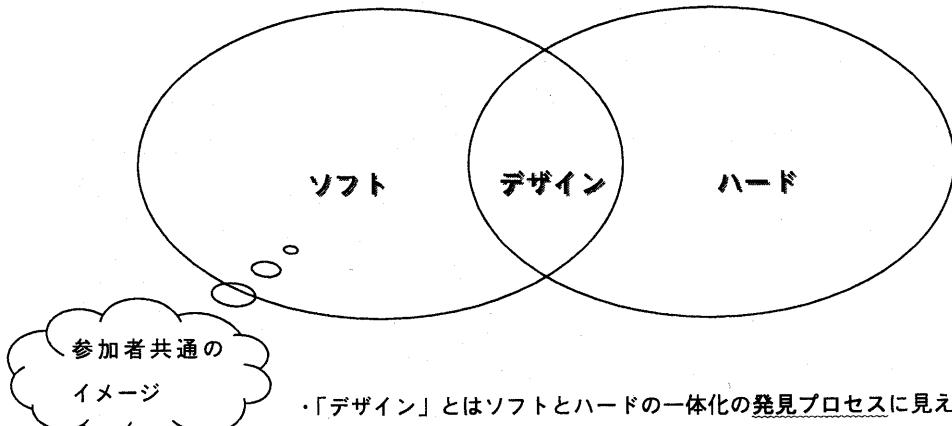
- ・ユーザーの『参加』の動機づけと学習に有効。
- ・ワークショップの道具として「かたち」を通じて対話し、合意する
- ・小さな積み重ねとして合意する「ガイドライン」を構成できる。
- ・ユーザーのボランティア力や経済支援を促す気になる戦略政策作成に役立つ。
- ・「共通で語り合える」コミュニケーションを可能とする。

パタンランゲージの通訳機能が「合意形成」と「ユーザー参加」の最重要機能

<実例>

- ①谷中 一 商業と公共性の調和を生み出す「合意」と「参加」。
- ②白浜 一 一つ一つの部分を実現していくことで、全体を実現する「合意」と「参加」。
- ③北九州 一 ビジネス（起業）としての「合意」と「参加」の可能性。

4. パタン・ランゲージの可能性



- ・「デザイン」とはソフトとハードの一体化の発見プロセスに見える。
- ・「デザイナー」はその間に立って管理するコーディネーターとなる。
- ・「ソフト」はユーザー参加とワークショップによって合意する
共通イメージの事である。



ソフトは、参加のプロセスの中で、時間に応じて、経験に応じて変化する

へおまけ／
ヨーロッパの逸話
「石のスープ」の物語には、
そのソフト（人々の参加）は、
ハード（成果物）のおいしいと
スープとの関わり方の変化
してゆくプロセスが良く描かれて
いる。